

《第12回飯倉駅前地区まちづくり協議会 議事録》

日付	平成29年3月18日(土)	15:00~16:20	晴れ	書記	浦田
出席者	委員	井上 峰夫(会長)、野澤 善一郎、村井 康祐(代理:飯島 長男) 鈴木 弘、柴田 実(監事代理)			
		守 正英、加瀬 功一(副会長)、平山 瑞子(監事)、椎名 英夫、松本 理、鶴野 航三(代理:大塚 榮一)			
	匠瑳市役所	企画課長 太田 和利、まちづくり戦略室長 林 雅之			
	事務局	江波戸、鈴木(九十九里ホーム) 西方、浦田(ミサワホーム)			
<発言者>	<内容>				
	・開会挨拶				
井上会長	飯倉駅前地区まちづくり協議会も、おかげさまで第12回、続けて行うことができました。				
	感謝申し上げます。今日で一区切りとなります。3/8にはこども園の入札を行いました。結果、銚子の岡田土建株式会社に決まりました。そして、13日には岡田土建株式会社と契約いたしました。				
	今日も工事現場の近隣に業者と挨拶に伺いました。何とか今年度中の着工ができると思います。				
	今日はワークショップの報告、事業計画案、活動報告書について、取りまとめを行います。				
	また、来年度にどう繋げていくかご説明致します。どうぞ皆様、よろしくお願い致します。				
事務局	配布資料: 第12回飯倉駅前地区まちづくり協議会、ワークショップ報告書、 平成28年度 飯倉駅前地区まちづくり協議会 活動報告書(案)、事業計画案				
	1. ワークショップ報告				
	・匠瑳市の魅力 ・将来どんなことをして人生を送りたいか ・事業計画について				P1~2
	2. 事業計画案について				
	・事業地概要 ・テーマ ・コンセプト ・目標 ・事業内容 ・全体スケジュール				P1~14
	3. 平成28年度 飯倉駅前地区まちづくり協議会 活動報告書(案)				
	・飯倉駅前地区まちづくり協議会について				P2
	・協議会活動内容について				P3~16
	・事業計画案について				P16~21
井上会長	ワークショップ報告書、事業計画案、活動報告書について、これでよろしいか。				
	また気づいた点あればご連絡下さい。最終いつまでに締めて、いつまでに完成させるのか。				
事務局	31日に納品ですので、今月中にお願い致します。				
	・協議会の感想等				
A委員	飯倉駅前地区まちづくり協議会の委員に参加させていただき、ありがとうございました。				

	生涯活躍のまち、をテーマに東京圏から移住者向けの住まい、認定こども園、特養、地域交流施設についてさまざまな検討をし、また地域住民アンケート、CCRC事例の視察、有識者の講演会、意見交換などを行い、事業計画を検討した協議会であったが、地域と移住者の交流を深める計画になればと思う。
B委員	本日、代理で参加させていただいた。3日前に資料をもらったがこれから事業として始まればすばらしい。実は叔母夫婦が東京新小岩に住んでいて、長男が北海道なので元気なうちに入れる施設を探したそうだが浦安はとても高かった。つぎに御宿は交通が不便だった。匝瑳市は高速道も延びているので地の利も良い。今後、期待している。
C委員	スケジュールは計画的に進んでいるようで、内容についても、利用者の入居が大切。このままスケジュール通りの方法で進行したら良いと思う。
D委員	協議会に参加するのは初めてで心配であったが、毎回、資料もわかりやすく助かった。これまでの活動を振り返ってみて、ゆいまーる那須の視察、三菱総研の講演は良かった。計画については交流ゾーンの高齢者との繋がりが地域活性化に繋がれば良いと思う。
E委員	この場所はスーパーが2回、駄目だった。寂しさを感じた。更地になって計画をうわさで聞いていたが、ある時、協議会参加の依頼がありうれしかった。最初、CCRCがわからなかったがだんだんわかるようになった。意見を言ったら取り入れてもらえてうれしかった。市の1月の広報の中に、出生13、死亡66とあり、月50人減っている。このままだと人口が減っていくという状況のなか、この計画が持ち上がって、みんなで知恵を出し合っているのがうれしかった。松田先生の「ピンチをチャンスに変える」は、まさにこれだなと思った。希望が持てた。人が来ることで経済効果もわかった。勉強させていただいてありがとうございます。
F委員	あっという間だった。今回の計画はこども園、特養、サ高住とかなりの雇用が発生するのでは。雇用が発生することによって人口が増えるのは市にも町にもプラス。今回の計画は「生まれたときから看取りまで」匝瑳市は安全に暮らせるまちとして作っていけるのでは。サ高住については50歳以上の方が新たに起業していただくとかあれば良いのでは。雇用は女性の比率が多くなりそうだが、女性が活躍する中で安心して子どもを預けられることでまちが活性化していく。今後は、プロモーションの方が大切になっていく。
G委員	全国に先駆けて、先駆的な協議会に参加させていただいた。また色々な方と知り合いになれた。今は土台ができたところで、今後どうやって作って行くかが大切である。気になっているのは、アンケート回収率が非常に高いことで、これは期待値が高いからなのではないか。今後いかにこれをすくい上げていけるか。どれだけ期待に応えられるかが重要である。先日、NHKでやっていたが、高齢者の状況は大変、サ高住、特老に空室が多くなってきた。データを細かく検証していかないと、人を集めるのは大変。これから内容の充実が必要。
H委員	昨年4月から豊栄地区区長会長、飯倉台自治会長も兼任している。この協議会の依頼があり、大変と思いつつ勉強になってよかった。20年前は、活気があり、ショッピングセンターもできてこれから人口も増えると期待していた。しかし、ショッピングセンターが閉店し、その後オーシャンマートができたがまた閉店、人が減った。若い人も減ってきた。人口減少を食い止める為にはエネルギーが要る。協議会はうまく回っているが、継続して時間をかけていかないといけない。メンバーも定期的に変え、新しい意見を取り入れることも必要。
I委員	28年度は終わったが、32年度まで着実に路線が敷かれるであろう。子育てゾーンは、認定こども園が29年度から工事が始まる。定着するかどうか最大のポイント。残念な点は小学校がこの地域にない。年数かけて

